

うぞうさんの てんぐとおに

「宇曽山の天狗と鬼」



脚本・絵：藤丸 淑美（大分市地域おこし協力隊）

原作：「鬼と天狗の知恵くらべ」

12
場面

《あらすじ》

大分市 野津原の宇曽山で、天狗が修行をしていました。
山に住む鬼が村におりてきて、食べものを求め暴れます。
村人たちを助けようと天狗はある作戦を思いつくのですが …

「うぞうさんのてんぐとおに」 12場面 2025年3月発行

原作：ふるさとの民話「のつはる物語」より『鬼と天狗の知恵くらべ』

脚本・絵・解説：藤丸 淑美（大分市地域おこし協力隊）

製版・印刷：極東印刷紙工株式会社

発行所：大分市役所 野津原支所

この紙芝居は地域おこし協力隊員が地域活性化を目的に制作したものです

原作「ふるさとの民話 のつはる物語」収録「鬼と天狗の知恵くらべ」について

この紙芝居は、大分市の西部に位置する野津原地域で誕生した書籍「ふるさとの民話 のつはる物語」という民話集から、「鬼と天狗の知恵くらべ」という作品を選び、紙芝居にあうよう書き換えたものです。昭和40年（1965）小学校の児童らが住民に聞き取りをした昔話を、先生が「ななせの里 いわれと伝説」というタイトルで冊子にまとめたことが始まりでした。この冊子をもとに、平成19年（2007）親しみやすい子供向けの民話集としてまとめた書籍「ふるさとの民話 のつはる物語」が発行されました。書籍は大分市民図書館等に所蔵されているほか、令和6年（2024年）より「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」に保管されています。

鬼と天狗、村人たちが登場するこの作品には、「相手の状況を思いやり理解しようとする、悪いことをしたと思ったら反省すること、素直に謝ること、赦すこと、受け入れること、それぞれの特性を活かすこと、立場や背景が違う者同士でも互いに協力すること」等々、私たちが暮らしていくなかで大切なことが描かれています。また、農作物と水の関係、生きものも描かれており、様々な角度から子ども達の心に届くものがあるのではと思っています。強い鬼が小さな生きものに驚く様子には、面白さもあります。皆さんの地域の方言で語る等、楽しく演じていただければと思います。



宇曽山